

三信電気、LiveU 送信機 LU800 を発表

～中継現場で最大 4ch のカメラ入力をスイッチング、4 K HDR、5 G にも対応。～

三信電気（本社：東京都港区）は LiveU 社（本社：イスラエル、テルアビブ）の新製品 LU800 を発表した。

LiveU は携帯の SIM を複数同時に使用することで HD や 4K など大量のデータを消費する映像信号をライブで配信できるモバイル中継装置を開発しているメーカーで、LiveU の送信機は国内でも多くのテレビ放送やインターネット配信で広く利用されている。

今回発表された LU800 は LiveU 送信機の最上位機種で、マルチカメラ入力、4 K HDR 映像サポート、5 G ネイティブ対応、といった新機能を備える。

LU800 には 12G SDI の 4K 入力に対応した LU800-PRO と、4K HDMI 入力および 3G SDI/HD 入力を備えた LU800HDR がラインナップされる。

マルチカメラ入力は、LU800-PRO のソフトウェアによるオプションで、フレーム単位で同期する HD-3G SDI 同時入力を実現する。オプションの種類により映像は 2ch または 4ch まで、オーディオは最大 16ch まで対応可能となる。

映像同時入力時には、受信機に高画質な映像を同時に複数配信できる「マルチ HQ モード」と、良好な通信環境が確保できない場合に役立つ「スイッチャー・モード」が選択できる。

「スイッチャー・モード」では、送信機側でスイッチングを行い選択した入力のみを高画質で受信機に送信可能。LU800 送信機本体に搭載されている 7 インチの大型タッチ・パネルで効率的に作業が行える。また、受信機側でプレビュー映像を見ながらスイッチングを行うことも可能で、いずれの場合も選択されたチャンネルが高画質で受信機に送られる。

LU800-PRO は 12G SDI を含む SDI×4 入力を搭載、最大ビットレートは 70Mbps で 4K 10-bit HDR までサポートする予定。（LU800-HDR の場合 4K 入力 は HDMI のみ、最大ビットレートは 30Mbps。）

LU800 は、8 回線の 5G 内蔵モデムを搭載、5G のパフォーマンスを最大限に活かす設計になっている。もちろん従来の LTE モデムで運用することも可能だ。さらに LAN 2 回線、Wi-Fi 2 回線も搭載しており、幅広い回線環境を利用できる設計になっている。

LU800 は、日本では代理店の三信電気から 7 月発売予定。

問い合わせ：三信電気株式会社 映像システム営業部

E-mail：eizo-info@sanshin.co.jp 電話：03-5484-7270

<http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd/live-stream>



LU800-PRO